

<図書紹介（11 冊）>

①「小さくても「人」が集まる会社」

西川 幸孝 著（日本経済新聞出版社）

「会社の変わり目には新しいタイプの社員が入社する」という見方があります。採用には原理原則がありますが、一方で原理原則の適用のしかたは、企業の経営理念やどのような顧客価値を実現したいか（目指す顧客価値）によって変わります。本書では採用改革をバネとして成長してきた企業（廃業の危機から就活生 2 万人がエントリーする企業、30 年間平均 10% 成長をもたらした「経営理念の DNA」化）等の事例が紹介されています。「ここで働きたい」と思える有益人材を集め、成長を生み出す企業改革の参考となる本です。

②「ザ・アドバンテージ なぜあの会社はブレないのか？」

パトリック・レンシオーニ 著（株式会社翔泳社）

組織づくりは普遍的なテーマです。時代により流行りはありますが、最終的に競合優位に立つ企業は「ヘルシー（健全な）」な組織であると述べています。組織の健全性のために必要な 4 つのプロセスとして、1. 経営陣の団結力、2. 組織の透明性創出、3. 透明性の浸透、4. 透明性の向上 がわかりやすく解説されています。

③「一生の仕事が見つかる ディズニーの教え」

大往 力 著（日経 BP 社）

本書のキーワードは「あなたの「役割」は何ですか」です。ディズニーでは仕事を「作業」と「仕事」2 種類に分け、「あなたの「役割」は何ですか？」という問いかけの答えが「仕事」ととらえています。「作業」はマニュアルで決められて誰がいつやっても同じ結果が得られるもの、作業で仕事をしたと思わず目の前にいるゲスト（お客）のために、自分の頭で考え、行動ができて「仕事をした」といえると述べています。「仕事」はお客様に作られる、名刺がない自分に何ができるか？など、自分の役割を探している人へのヒントともなる本です。

④「あなたの思考をガイドする 40 の原則 クリティカルシンキング 入門編」

E.B.ゼックミスタ 著（北大路書房）

クリティカルシンキングとは直訳すれば「批判的思考」。

物と情報が洪水のごとくあふれる現代、現代をよりよく生きるためには「よい思考」が必要です。自分の思考力に不満を感じている、これ以上どう考えたらいいのか限界を感じているといった方は参考にしてはいかがでしょうか。

⑤「決断の条件 マネジメント力を鍛える実践ケース 50」

P.F ドラッカー 著（ダイヤモンド社）

「問題に対する答えが一つでないということこそ、マネジメントの世界の特質である」

—P.F ドラッカー—

本書ではあらゆる組織で見られるマネジメント上の状況、問題の 50 のケースが書かれています。「自分ならばどうするか？」を考えつつ読んでみてはいかがでしょうか。

⑥「ザ・チーム 日本の一番大きな問題を解く」

斉藤ウィリアム浩幸 著（日経 BP 社）

イノベーションの加速する世界で個人・企業・国家が生き延びるには、異質な価値観、異質な才能、異質な文化をもつ人がチームを組んで共通の目的のために助け合うことが絶対条件となります。多様な人からなるチームをつくり、まずヘルプからはじめてみましょう。

⑦「現場女子 輝く働き方を手に入れた 7 つの物語り」

遠藤 功 著（日本経済新聞出版社）

本書では 7 つの職種、7 人の「現場女子」のストーリーが書かれており、どうすれば輝く

「現場女子」を増やすことができるのか、会社がなすべき 3 つのポイントなどが考察されています。現場女子だけでなく上司も必読です。

⑧「コミュニケーションリーダーシップ 考える技術 伝える技術」

佐藤 玖美 著（日本経済新聞出版社）

相手に行動を起こさせるというゴールに向かってのコミュニケーション法についての紹介です。またより効果的なコミュニケーションを組み立てるための方法(思考の枠組み)「アンブレラ・フレームワーク」について書かれており、このフレームワークに沿って思考を進めることで相手の行動を促すことができるようになるといったことが書かれています。

⑨「採用基準 地頭より論理的思考より大切なもの」

伊賀泰代 著（ダイヤモンド社）

これからの人材に必要とされている資質は何なのか、そしてそれらの資質やスキルを身につけることによって世の中や会社はどう変わるのかなど、世界的コンサルティングファームのマッキンゼーアンドカンパニーでグローバルな採用業務を担当していた著者の視点で書かれた本です。またそれらの資質を身につければ個人の働き方やキャリア形成はどう変わるかなど、採用担当者だけでなくとも参考になる本です。

⑩「BCG 流病院経営戦略 DPC 時代の医療機関経営」

ボストンコンサルティンググループ 著（エルビアジャパン）

上記マッキンゼーアンドカンパニーと業界を二分する世界的コンサルティングファーム、ボストンコンサルティンググループ（BCG）で医療機関経営コンサルトをしている著者による病院経営に関する参考書です。

⑪「「30分遅れます」は何分待つの？経済学」

佐々木 一寿 著（日本経済新聞出版社）

タイトルのような身近なほんのちょっとした謎や疑問を分かりやすい経済学の考え方を使いながら解明、経済的思考や経済学の知識がほんのちょっと身につく一冊です。

平成25年5月14日
理事長 市丸 喜一郎